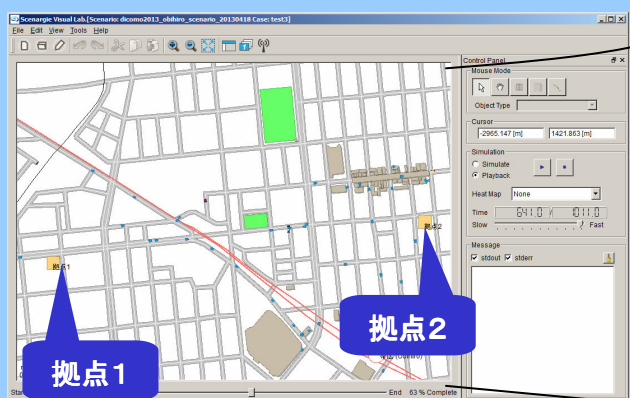


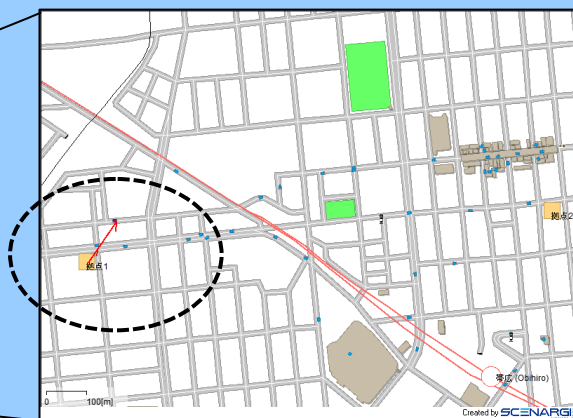
Scenargie® (シナジー) – DTN研究への活用 –

金田茂、前野誉 (株式会社スペースタイムエンジニアリング)

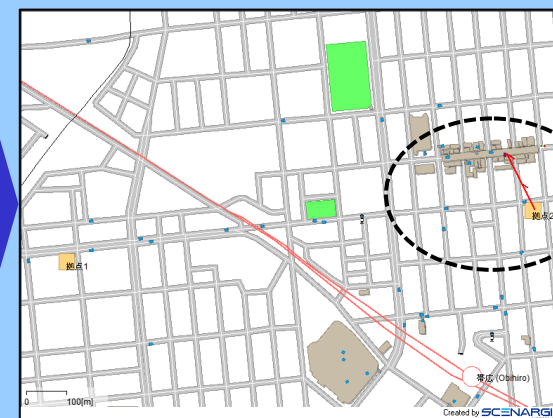
通信システムシミュレーション、交通流シミュレーション、マルチエージェントシミュレーション、電波伝搬シミュレーション、地理情報システム(GIS)などを統合し、柔軟なシナリオの作成や効率的なシステムの評価を可能とするScenargieは、DTN (Delay / Disruption Tolerant Network) 研究におけるシミュレーション評価にもご活用頂けます。



GUI操作によるシナリオ構築
(災害により2つの拠点間の通信リンクが切断)



周辺道路を走行する通信機を持った
車両が拠点1より情報を受信し保持



保持していた情報を拠点2に送信し、
拠点間の情報を共有

DTNの研究では、モビリティモデルやルーティングプロトコルの挙動がシミュレーション結果に大きな影響を与えます。Scenargieでは、現実的な環境を想定したシミュレーション評価を行うために、地図情報の取り込みや人、車、電車など多様なモビリティを想定したパケットレベルの無線通信システムシミュレーションが可能です。そのほか、メッセージの到達率や遅延時間など統計値の集計やグラフ表示、シミュレーション実行中のパケットの流れを可視化することなどが出来ます。